

2013年3月期 第2四半期決算説明資料

決算短信開示
2012年11月7日

1. 2013年3月期 第2四半期決算概要

2. 2013年3月期 連結業績予想

5月15日公表の連結業績予想から変更ありません

3. 2013年3月期 経営施策/事業重点施策

連結決算ハイライト

前年同期比

(百万円)

科目	'12年3月期	'13年3月期	前年同期比	
	2Q実績	2Q実績	増減額	増減率%
売上高	15,107	14,736	△371	△2.5
営業利益	594	489	△105	△17.7
営業利益率%	3.9	3.3	△0.6p	-
経常利益	488	411	△77	△15.8
四半期純利益	143	178	+35	+24.6
EBITDA	1,210	984	△226	△18.7
自己資本四半期純利益率(ROE)%	2.1	3.0	+0.8p	-
総資産経常利益率(ROA)%	2.5	2.2	△0.3p	-
1株当たり四半期純利益(EPS)	3円73銭	6円11銭	+2円38銭	+63.8
1株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)	30円00銭	26円53銭	△3円46銭	△11.5
1株当たり純資産(BPS)	199円23銭	213円47銭	+14円24銭	+7.1
1株当たり配当金[2Q期末]	4円	4円	-	-

EBITDA：営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

1株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)：(四半期純利益 + 減価償却費 + のれん償却額) / 期中平均株式数

1株当たり情報：普通株式に係る数値

連結決算ハイライト

予想比

(百万円)

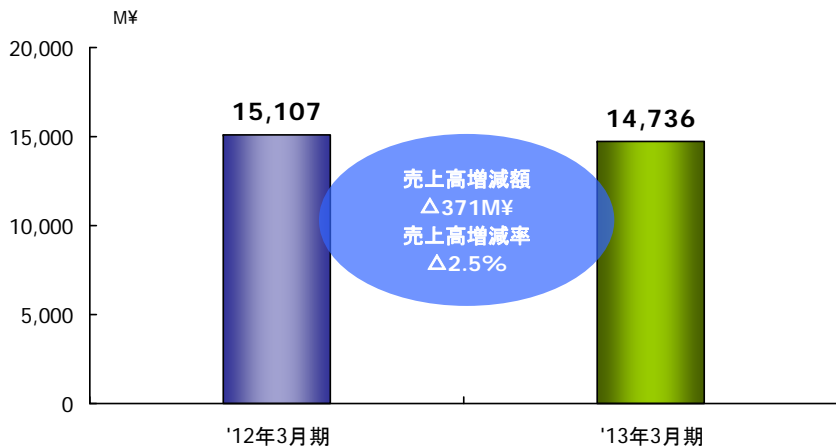
科目	'13年3月期	'13年3月期	予想比	
	2Q予想	2Q実績	増減額	増減率%
売上高	15,400	14,736	△663	△4.3
営業利益	485	489	+4	+0.9
営業利益率%	3.1	3.3	+0.2p	-
経常利益	355	411	+56	+16.0
四半期純利益	150	178	+28	+19.1
1株当たり四半期純利益(EPS)	4円98銭	6円11銭	+1円13銭	+22.7
1株当たり配当金[2Q期末]	4円	4円	-	-

1株当たり当期純利益の金額は、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想において3円98銭(第2四半期累計)としておりましたが、平成24年6月27日付でA種優先株式全額を消却したことにより、4円98銭となります。

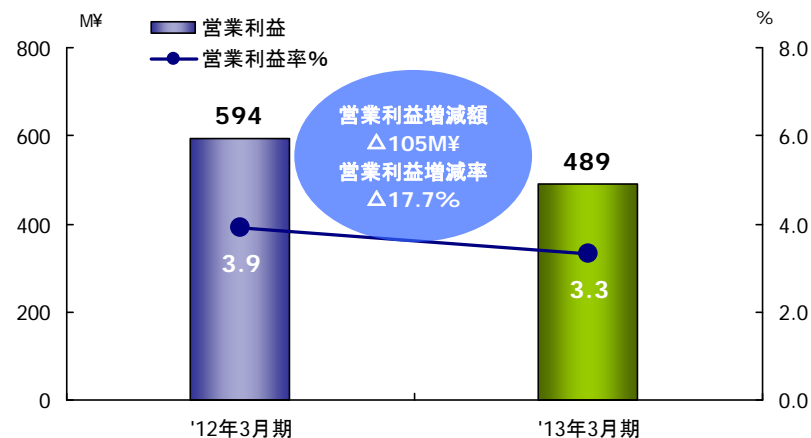
連結決算ハイライト

前年同期比

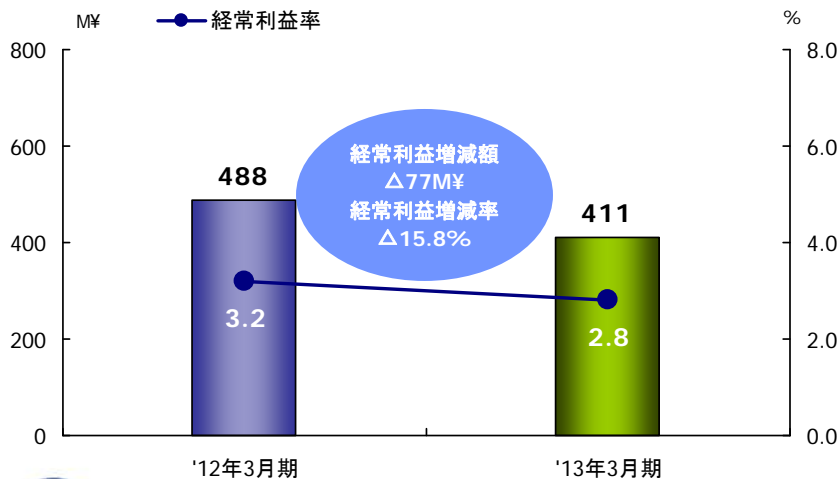
売上高



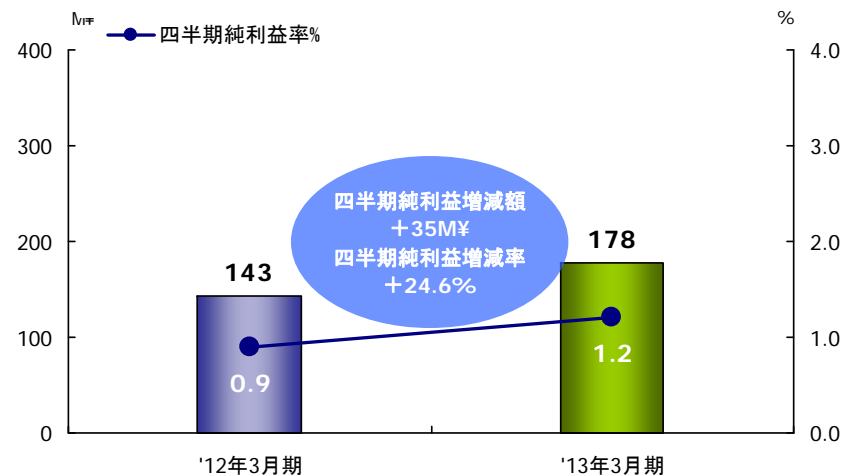
営業利益



経常利益



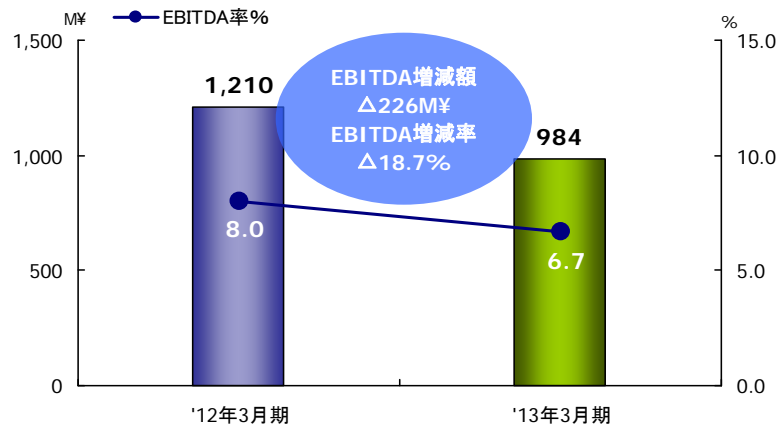
四半期純利益



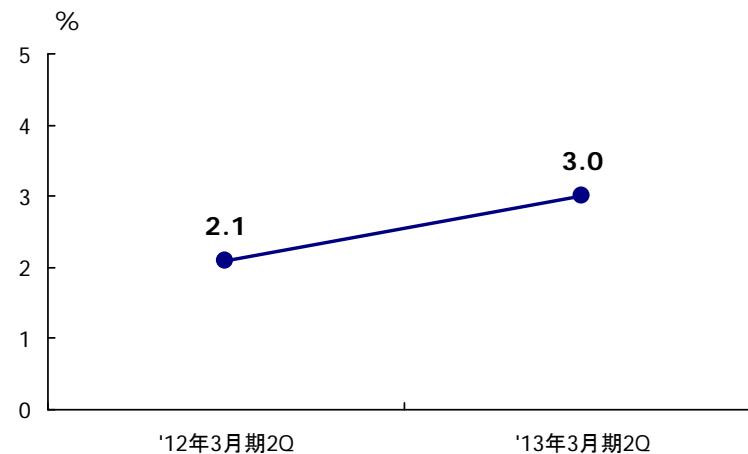
連結決算ハイライト

前年同期比

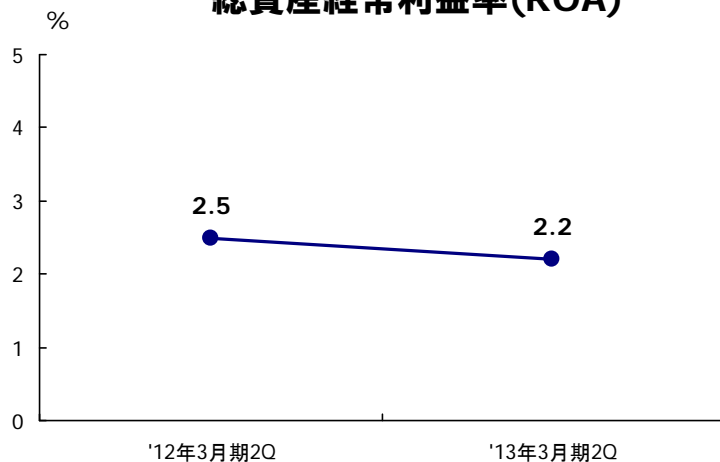
EBITDA



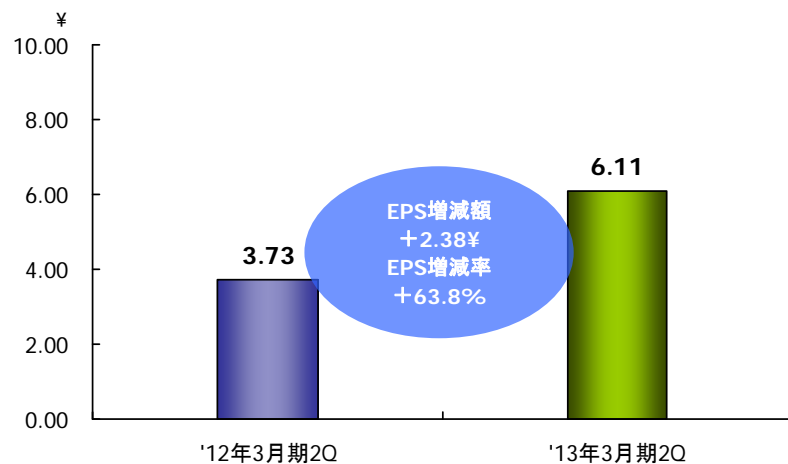
自己資本当期純利益率(ROE)



総資産経常利益率(ROA)



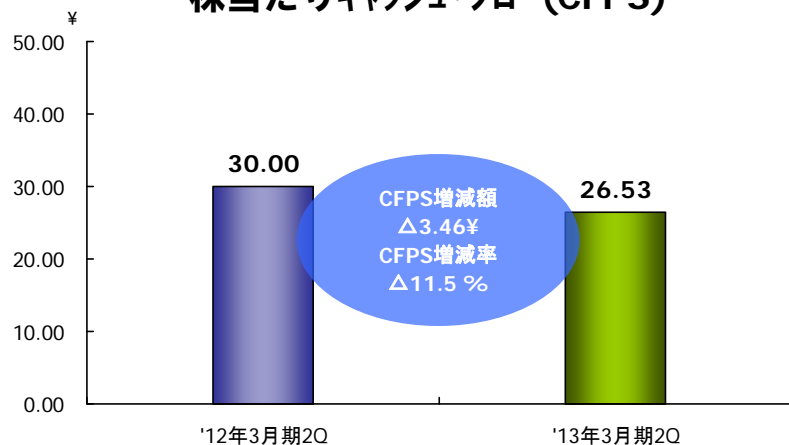
一株当たり四半期純利益(EPS)



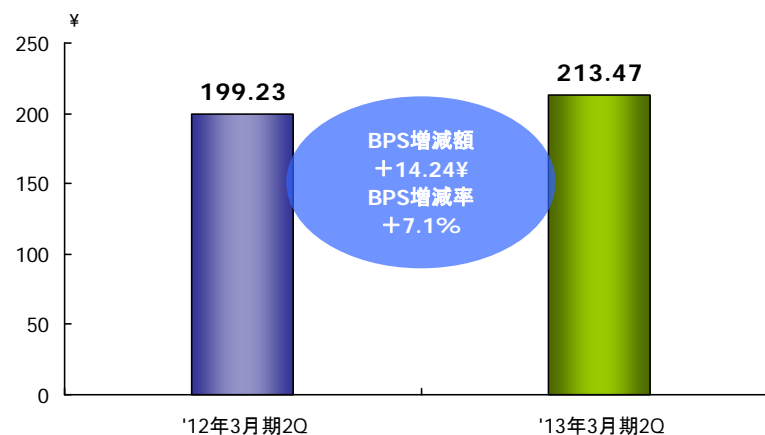
連結決算ハイライト

前年同期比

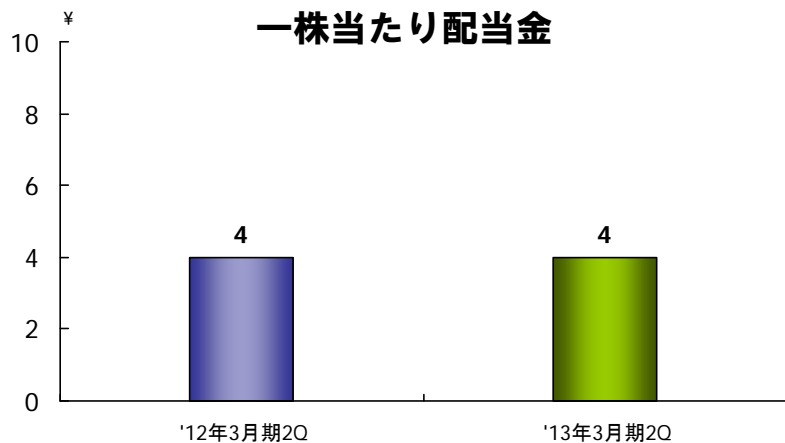
一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)



一株当たり純資産(BPS)



一株当たり配当金



連結損益計算書ハイライト

前年同期比

(百万円)

科目	'12年3月期	'13年3月期	前期比	
	2Q実績	2Q実績	増減額	増減率%
売上高	15,107	14,736	△371	△2.5
売上原価	11,880	11,716	△163	△1.4
売上総利益	3,227	3,020	△207	△6.4
売上総利益率%	21.4	20.5	△0.9p	-
販管費	2,633	2,530	△102	△3.9
売上高販管费率%	17.4	17.2	△0.3p	-
営業利益	594	489	△105	△17.7
営業利益率%	3.9	3.3	△0.6p	-
営業外損益	△105	△77	+28	-
経常利益	488	411	△77	△15.8
特別損益	△8	29	+37	-
税前当期純利益	480	441	△39	△8.1
法人税等	338	259	△78	△23.2
当期純利益	143	178	+35	+24.6

連結決算ポイント

- ▶ 前年同期比減収営業減益となるも利益は計画を達成
- ▶ SSS事業は引き続き好調

売上高

- ・ 情報漏えい事件や標的型メールによるサイバー攻撃が後を絶たないなか、情報セキュリティへの意識が一層高まりSSS事業は増収となるも、SIS事業における開発案件の減少や開始時期の遅れ、ディーラー事業における受注減や案件の小型化などにより、2.5%の減収となる

営業利益/経常利益/当期純利益

- ・ 間接業務の合理化など引き続き経費低減に努め、販管費を抑制するものの、売上高の減少に加え、ディーラー事業における仕入れ条件の悪化も影響し売上総利益が減少し、営業利益、経常利益ともに減益となる
- ・ 本年4月の子会社買収による負ののれん発生益の計上などにより、当期純利益は増益となる

EBITDA

- ・ 営業利益の減少やのれん償却額などの減少により縮小となる

連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト

前期比

(百万円)

科目	'12年3月期	'13年3月期
	2Q実績	2Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	832	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△560	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,573	△1,007
フリーキャッシュ・フロー	272	8
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	△1,317	△1,006
現金および現金同等物期首残高	2,984	3,003
現金および現金同等物期末残高	1,667	1,997
自己資本比率%	32.0	29.3
時価ベースの自己資本比率%	46.2	46.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率%	419.4	2,437.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	12.1	3.0

フリーキャッシュ・フロー: 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

自己資本比率: 自己資本 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額 / 総資産

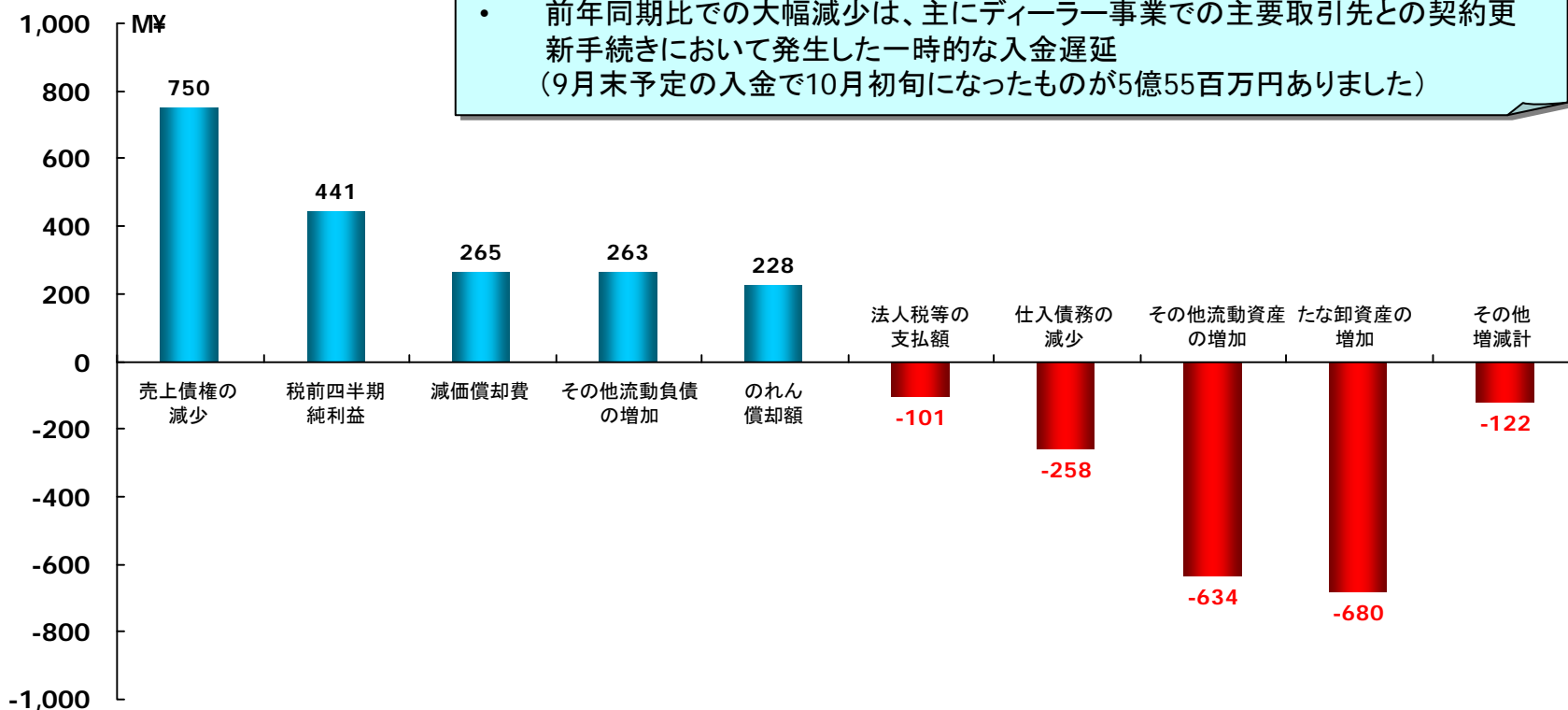
インタレスト・カバレッジ・レシオ: 営業キャッシュ・フロー / 利払い



連結キャッシュ・フロー計算書ポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

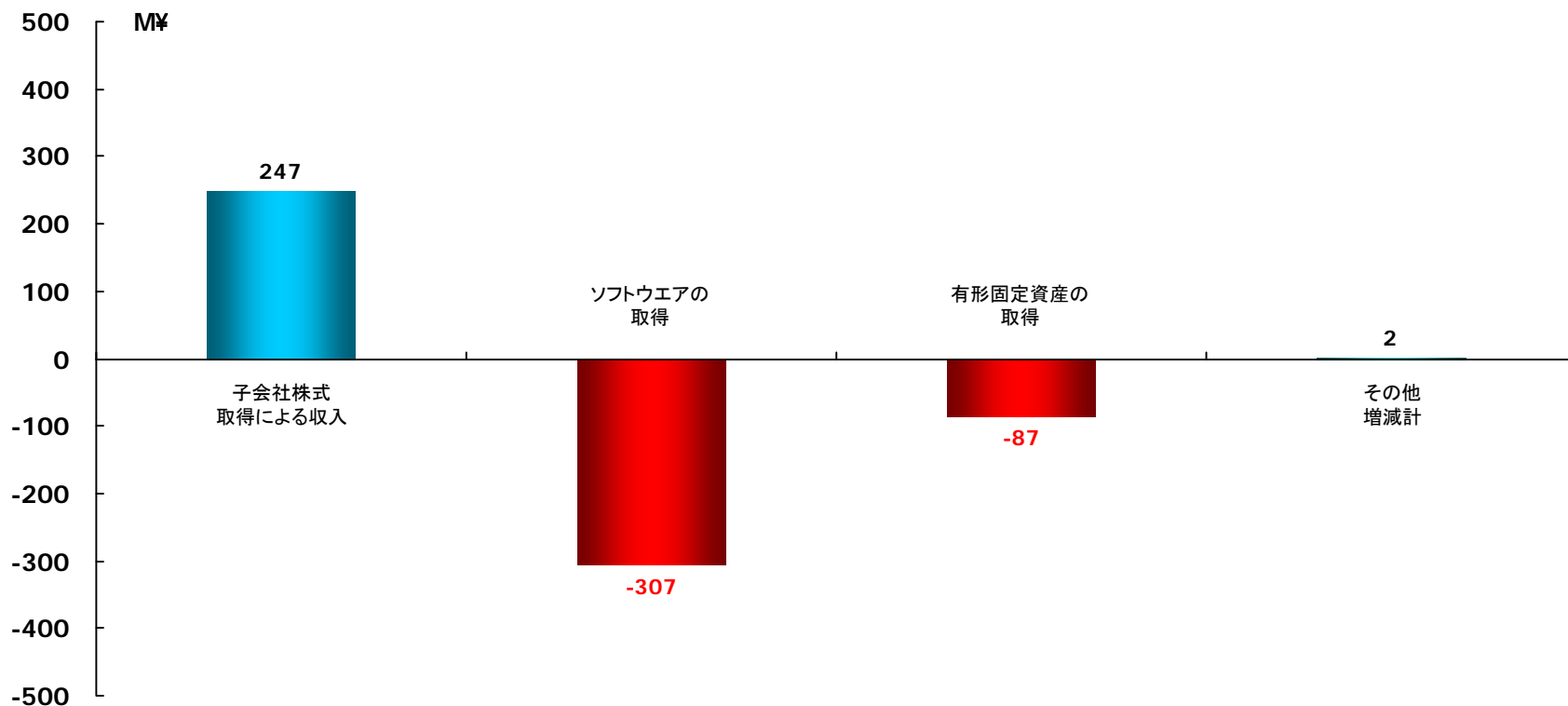
- 税金等調整前四半期純利益の計上に加え、減価償却費およびのれん償却額の計上、売上債権の減少の一方、仕入債務の減少、たな卸資産の増加、前払費用の増加などにより、1億53百万円の資金流入となる
- 前年同期比での大幅減少は、主にディーラー事業での主要取引先との契約更新手続きにおいて発生した一時的な入金遅延（9月末予定の入金で10月初旬になったものが5億55百万円ありました）



連結キャッシュ・フロー計算書ポイント

投資活動によるキャッシュ・フロー

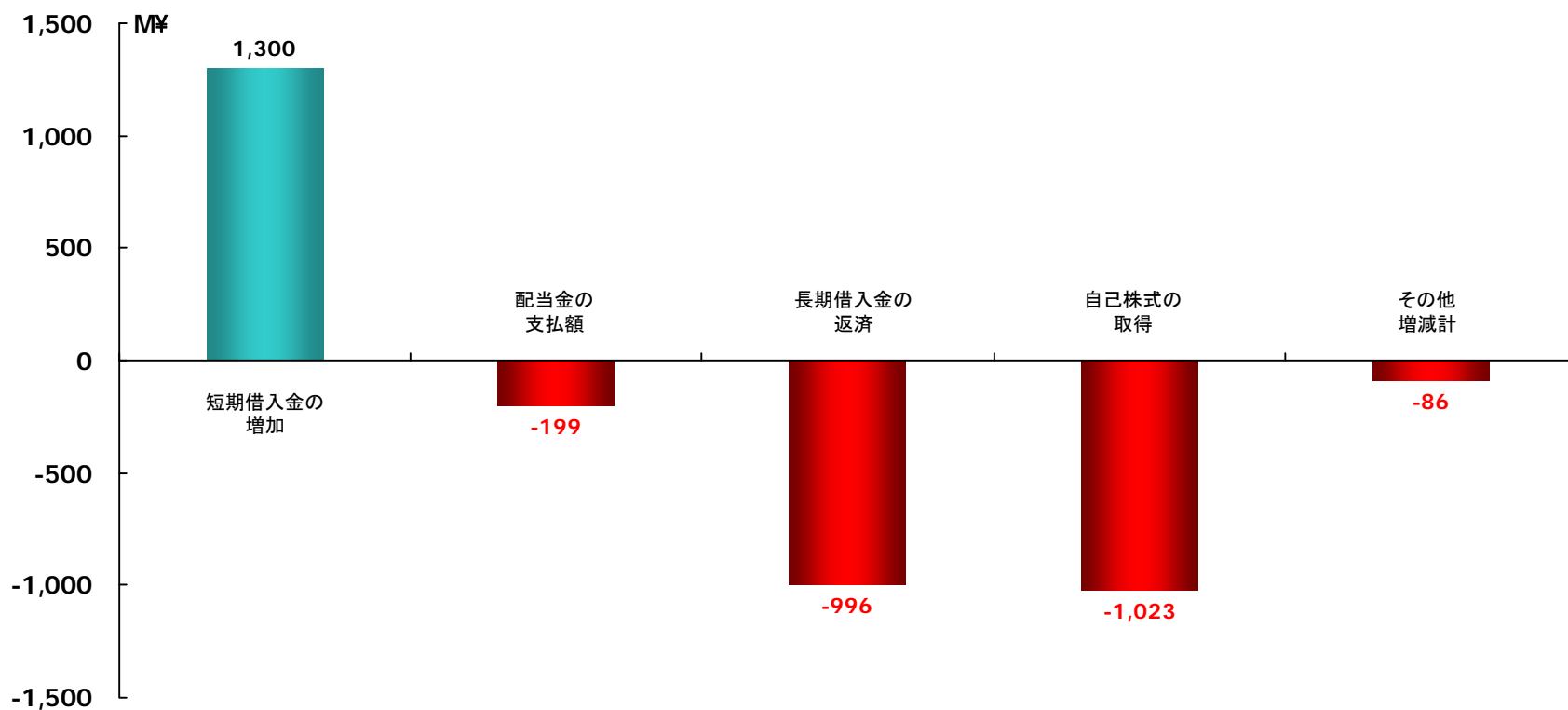
- 連結範囲の変更に伴う子会社株式取得による収入の一方、ソフトウェアおよび有形固定資産の取得による支出などにより、1億44百万円の資金流出となる



連結キャッシュ・フロー計算書ポイント

財務活動によるキャッシュ・フロー

- 短期借入金の増加の一方、長期借入金の返済や自己株式の取得による支出、配当金の支払いなどにより、10億7百万円の資金流出となる



連結貸借対照表ハイライト

前期末比較

(百万円)

科目	'12年3月期 期末	'13年3月期 第2四半期末	増減額	科目	'12年3月期 期末	'13年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	10,825	10,387	△437	流動負債	8,246	9,272	+1,025
現金及び預金	3,003	2,004	△999	買掛金	2,053	1,829	△223
受取手形及び売掛金	4,854	4,220	△633	短期借入金	514	1,800	+1,285
たな卸資産	304	990	+685	1年内長期借入	1,655	1,655	-
前払費用	2,066	2,710	+644	1年内償還社債	100	100	-
その他	599	464	△134	未払法人税等	301	78	△223
貸倒引当金	△2	△2	△0	前受収益	2,092	2,401	+309
				その他	1,529	1,407	△121
固定資産	8,574	8,101	△473	固定負債	4,643	3,777	△865
				社債	150	100	△50
				長期借入金	4,154	3,426	△727
				その他	339	251	△88
有形固定資産	1,169	1,111	△57	負債合計	12,890	13,049	+159
無形固定資産	4,504	4,370	△133	資本金	1,000	1,000	-
のれん	2,906	2,678	△227	資本剰余金	4,646	3,622	△1,023
その他	1,598	1,692	+93	利益剰余金	1,236	1,223	△13
投資その他の資産	2,900	2,618	△281	自己株式	△331	△331	△0
				その他有価証券評価差額	△36	△75	△38
				その他	△5	△1	+4
				純資産合計	6,509	5,438	△1,070
資産合計	19,399	18,488	△911	負債・純資産合計	19,399	18,488	△911

連結貸借対照表ポイント

資産

- 前払費用等の増加やたな卸資産の増加があった一方で、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、のれんの減少などにより、**184億88百万円**(前連結会計年度末比**9億11百万円減**)となる

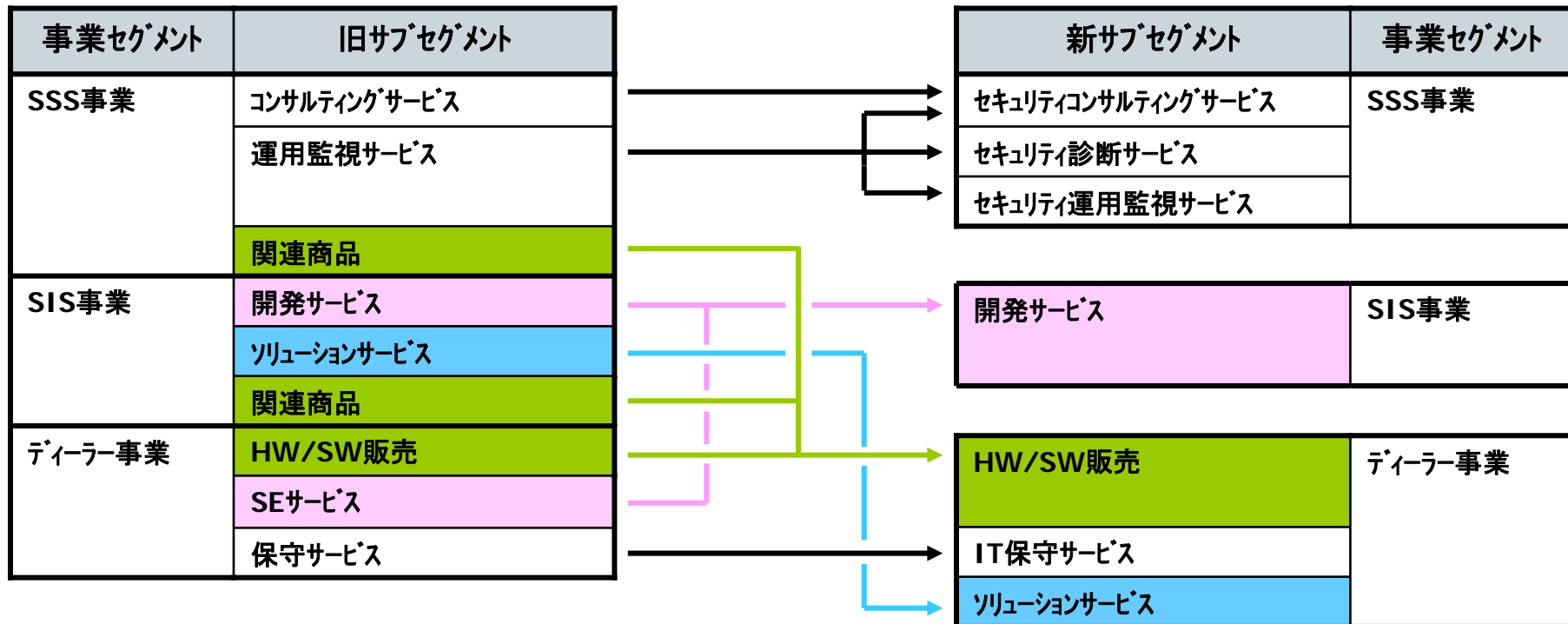
負債

- 買掛金の減少や長期借入金の減少、未払法人税等の減少などがあった一方で、短期借入金の増加や前受収益の増加などにより、**130億49百万円**(同**1億59百万円増**)となる

純資産

- 優先株式の取得及び消却などによる資本剰余金の減少等により、**54億38百万円**(同**10億70百万円減**)となる

組織変更に伴うセグメント構成の変更



【SSS事業】

- ・セキュリティ診断サービスを運用監視サービスから切り出し、独立したサブセグメントとした
- ・主に緊急対応案件に付随するサービス「フォレンジック調査関連」を、運用監視サービスからセキュリティコンサルティングサービスに組み替えた
- ・運用監視サービスの名称をセキュリティ運用監視サービスに変更した
- ・関連商品を、その内容からディーラー事業のHW/SW販売に組み替えた

【SIS事業】

- ・関連商品を、その内容からディーラー事業のHW/SW販売に組み替えた
- ・データセンターを中心としたサービスである「ソリューションサービス」を、ディーラー事業に組み替えた

【ディーラー事業】

- 上記のほか、
- ・「HW等の導入サービス」や「常駐系サービス」、「システム開発サービス」を展開するSEサービスを、SIS事業に組み替えた
 - ・保守サービスを、IT保守サービスに名称変更した

セグメント別業績ハイライト

前年同期比

(百万円)

売上高	'12年3月期		'13年3月期		前期比	
	2Q実績	構成比%	2Q実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	1,924	12.7	2,178	14.8	+254	+13.2
セキュリティコンサルティングサービス	657	4.3	901	6.1	+243	+37.1
セキュリティ診断サービス	362	2.4	315	2.1	△46	△12.8
セキュリティ運用監視サービス	905	6.0	962	6.5	+56	+6.3
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	6,170	40.8	5,664	38.4	△506	△8.2
開発サービス	6,170	40.8	5,664	38.4	△506	△8.2
ディーラー事業	7,011	46.4	6,892	46.8	△118	△1.7
HW/SW販売	3,556	23.5	2,923	19.8	△632	△17.8
IT保守サービス	3,159	20.9	3,690	25.0	+530	+16.8
ソリューションサービス	295	2.0	278	1.9	△16	△5.6
合計	15,107	100.0	14,736	100.0	△371	△2.5

セグメント別業績ハイライト

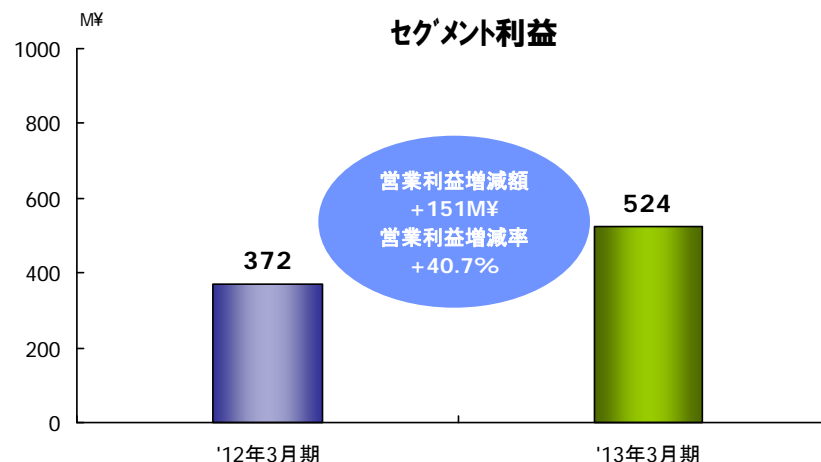
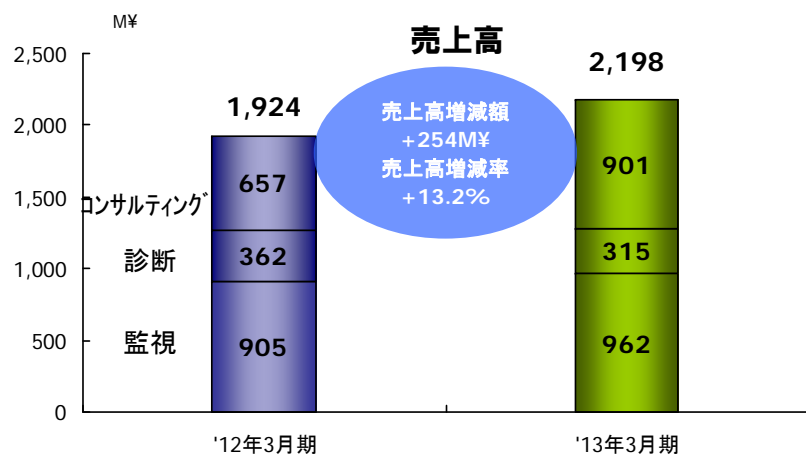
前年同期比

(百万円)

セグメント利益	'12年3月期	'13年3月期	前期比	
	2Q実績	2Q実績	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	372	524	+151	+40.7
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	894	907	+13	+1.5
ディーラー事業	184	△4	△188	-
消去又は全社(調整額)	△857	△938	△81	-
合計	594	489	△105	△17.7

セグメント別業績ハイライト(前年同期比)、業績ポイント

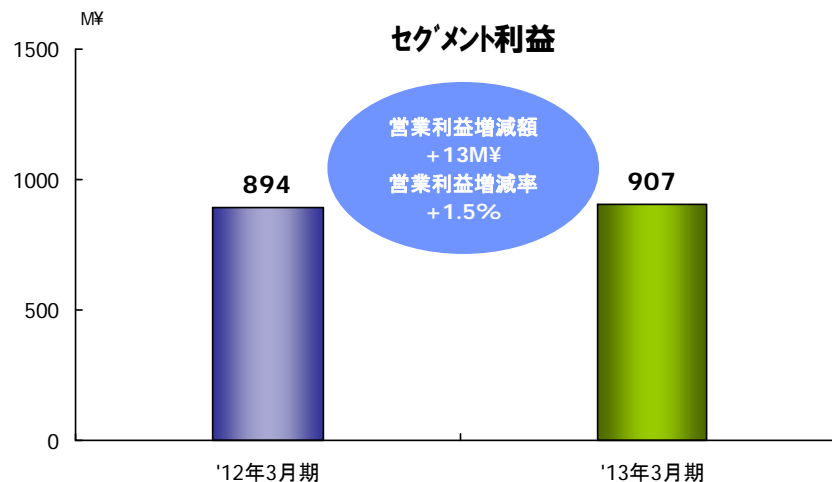
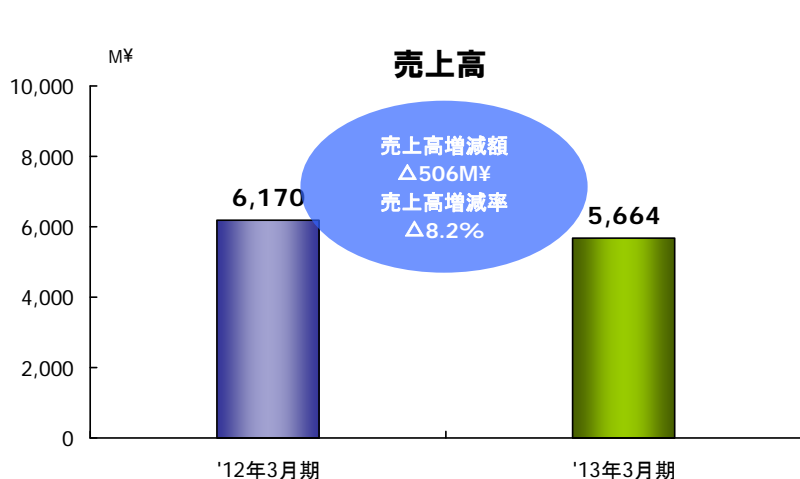
SSS事業



- 標的型メールによるサイバー攻撃やホームページ改ざんなどセキュリティ事件・事故が後を絶たず、緊急対応や金融機関向けセキュリティ対策支援などのセキュリティコンサルティングサービスや、セキュリティ診断サービス、セキュリティ運用監視サービスの受注が増加し13.2%増収となる
- 売上の増加により、セグメント利益は40.7%の大幅な増益となる

セグメント別業績ハイライト(前年同期比)、業績ポイント

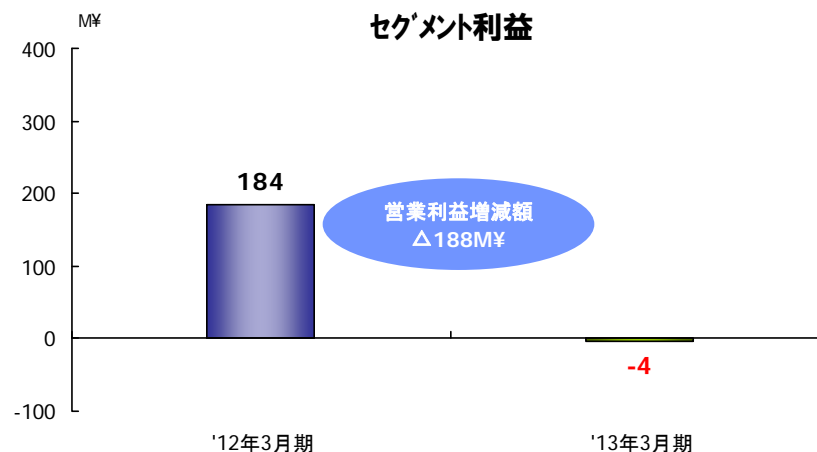
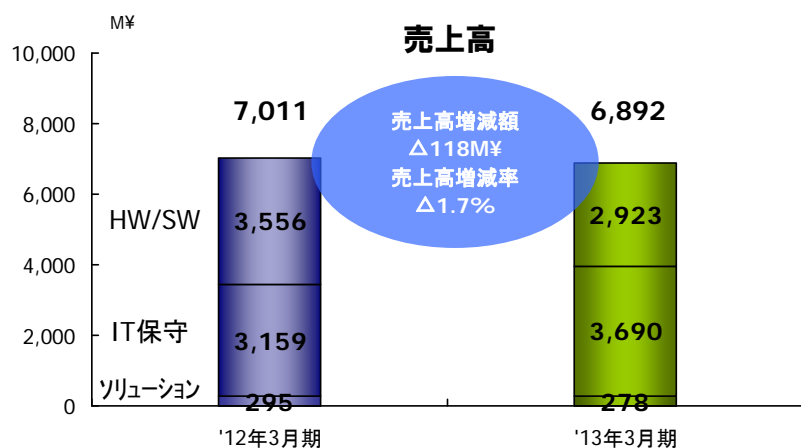
SIS事業



- 金融機関向けなど基幹系案件は増加するも、製造業向けやサービス業向けなど業務系アプリケーション開発案件の減少に加え、一部金融機関向け案件の開始時期の遅れなどにより、8.2%の減収となる
- 売上が減少したものの、のれん償却額など一般管理費が減少し、セグメント利益は1.5%の増収となる

セグメント別業績ハイライト(前年同期比)、業績ポイント

ディーラー事業



- 本年4月に買収した子会社によるネットワーク構築関連の保守売上が寄与しIT保守サービスは増加するも、一段と競争が激化するなか、HW/SW販売が減少し、1.7%の減収となる
- 売上の減少に加え、仕入れ条件の悪化などにより、セグメント損失となる

1. 2013年3月期 第2四半期決算概要

2. 2013年3月期 連結業績予想

5月15日公表の連結業績予想から変更ありません

3. 2013年3月期 経営施策/事業重点施策

連結業績予想

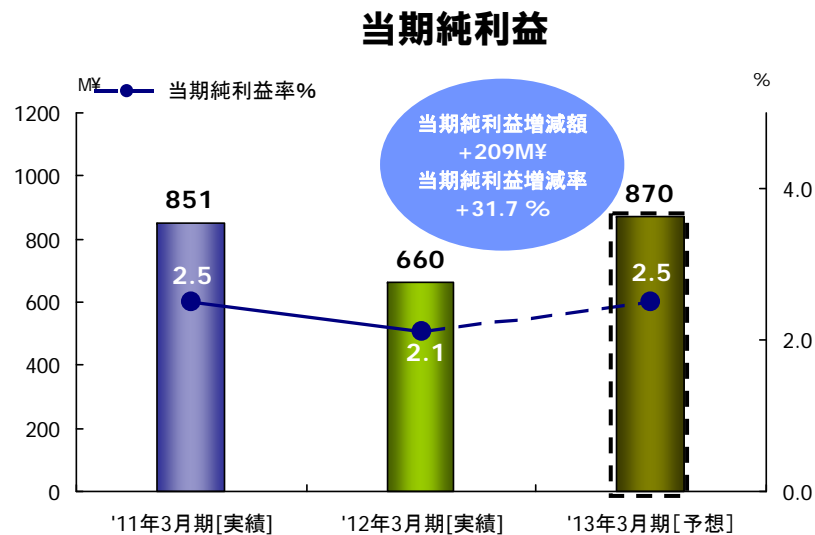
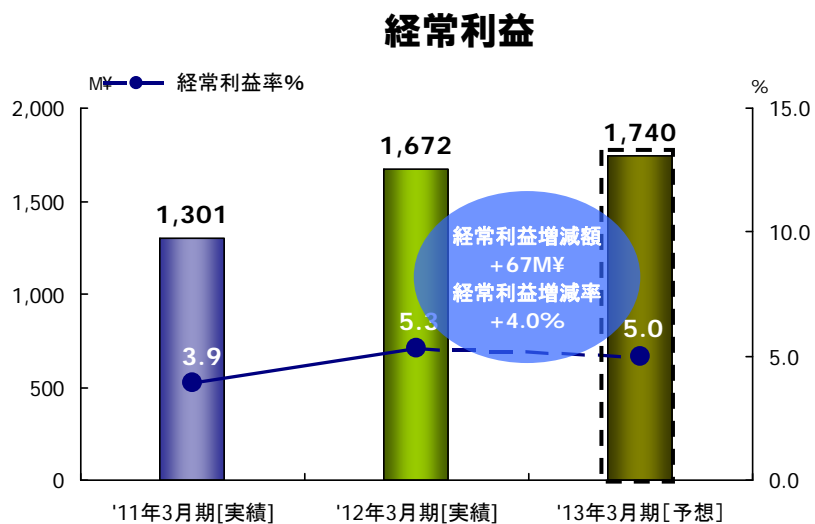
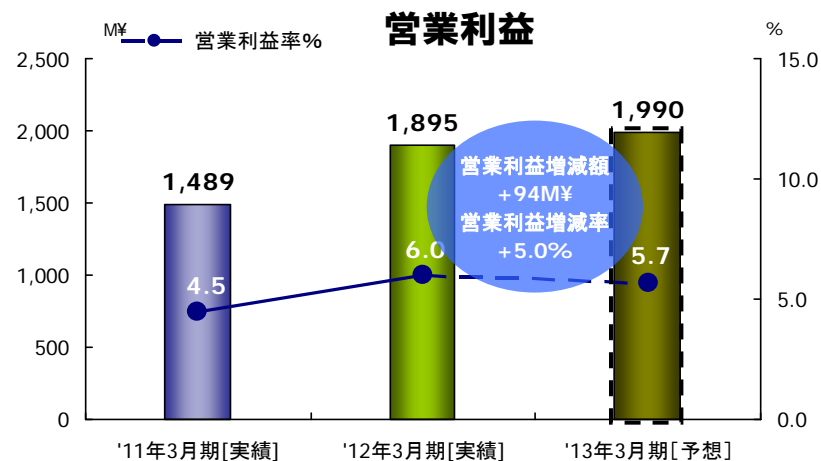
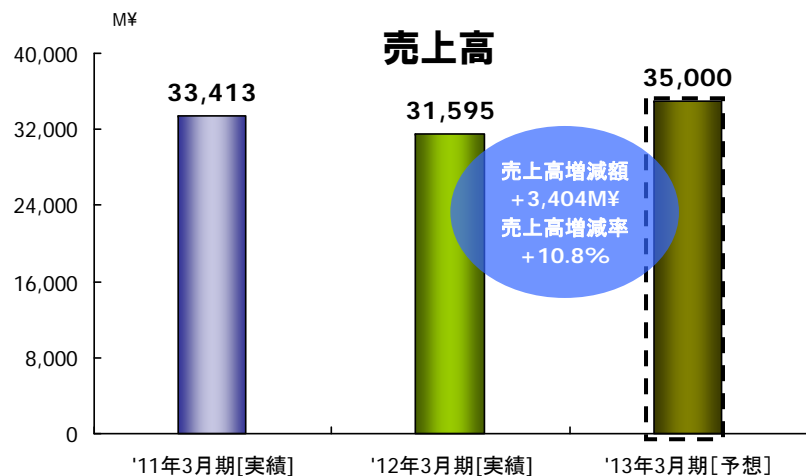
通 期

(百万円)

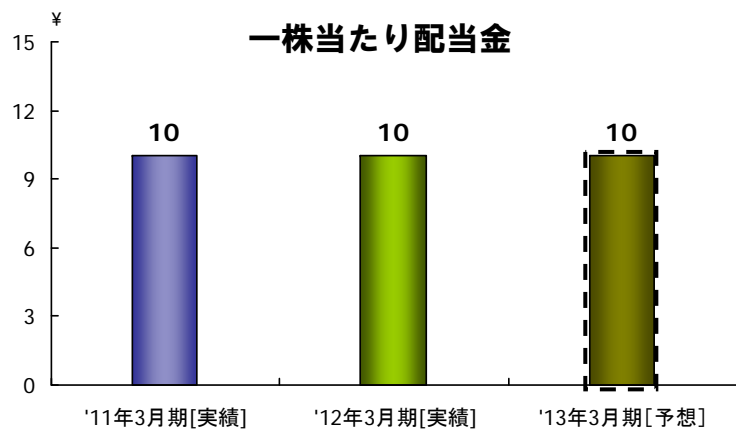
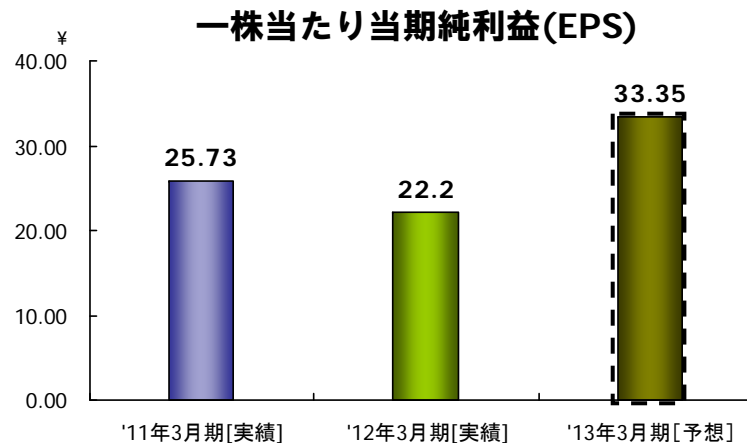
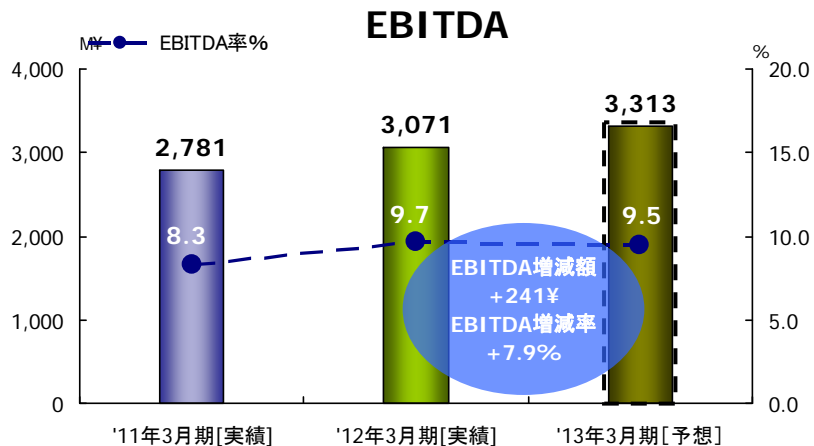
科目	'12年3月期	'13年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想(5/15公表)	増減額	増減率%
売上高	31,595	35,000	+3,404	+10.8
営業利益	1,895	1,990	+94	+5.0
営業利益率%	6.0	5.7	△0.3p	-
経常利益	1,672	1,740	+67	+4.0
当期純利益	660	870	+209	+31.7
EBITDA	3,071	3,313	+241	+7.9
1株当たり当期純利益(EPS)	22円20銭	33円35銭 ^{*)}	-	-
1株当たり配当金	10円	10円	-	-

*) 1株当たり当期純利益の金額は、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想において、30円42銭としておりましたが、平成24年6月27日付でA種優先株式全株を消却したことにより、33円35銭となります。

連結業績予想



連結業績予想



セグメント別業績予想

通 期

(百万円)

売上高	'12年3月期	'13年3月期	前期比	
	通期実績 (セグメント構成組替え後)	通期予想(5/15公表)	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	4,481	5,000	+518	+11.6
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	12,560	13,400	+839	+6.7
ディーラー事業	14,551	16,600	+2,048	+14.1
合計	31,595	35,000	+3,404	+10.8

'12年3月期のセグメント別の実績は、'13年3月期より組み替えた新セグメント構成で再計算した参考値です。

1. 2013年3月期 第2四半期決算概要

2. 2013年3月期 連結業績予想

5月15日公表の連結業績予想から変更ありません

3. 2013年3月期経営施策/事業重点施策

経営施策と実施項目-2013年3月期第2四半期

経営基盤 の強化

- セキュリティ監視サービスや常駐型SE案件の獲得によるストックビジネスの拡大
- 業績の伸長、優先株買取など総資産圧縮による自己資本比率の向上
- 経営企画室を中心に各事業との連携による中長期経営戦略の策定・推進

- 緊急対応などコンサルティング案件から、セキュリティ監視サービスの受注拡大
- A種優先株式全株の消却による株主価値の向上
- 中期経営計画策定に向けた準備の推進

ポートフォリオ の強化

- 強みであるセキュリティ事業を軸とした収益力のあるサービスへの再編
- ワンストップソリューションへの顧客ニーズに応えるため、統合した営業による提案力の強化

- 3事業の連携によるセキュアなシステム開発案件の提案・受注
- 一元化した顧客基盤へのワンストップソリューションの提案営業の推進

経営施策と実施項目-2013年3月期第2四半期

付加価値と 生産性の向上

- プロジェクト管理における品質管理システム・体制の拡充
- セキュリティのニーズを付加した新規ソリューションの展開

- 品質審査体制の強化と各種品質管理マニュアルの整備
- 新規ソリューションの創出に向けた取組み強化

グローバル 展開

- 中国現地法人（上海ラック）および韓国現地法人（CSLAC）における現地ビジネスの強化
- グローバルコスト競争に勝つための現地法人の活用とオフショアの推進

- 現地ビジネスの受注拡大に向けた営業要員の育成・拡充
- 現地技術者の育成・拡充による受け入れ体制の整備

経営施策と実施項目-2013年3月期第2四半期

人材の育成

- 適材適所への人材再配置と人事基盤強化に向けた制度の見直し
- 統合に伴うSEの横断的活用による、総合力強化と生産性向上の実現

- ・ 目標達成やスキル専門性に加え、自立度や社会性、リーダーシップなどの人間力に改めて着目した新しい目標管理制度に統一
- ・ 人材リソースの情報共有とタイムリーで適切なスキルマッチングを可能とする業務経歴管理システムの導入

セグメント別重点施策

SSS事業

市場環境

組織標的型や公開サーバへのサイバー攻撃は依然として後を絶たず、ITとビジネスが密接に連携している重要インフラ業種を中心にセキュリティ投資は増加すると見られる。特に大企業向けの監視サービス、診断サービス、高度人材派遣やコンサルティングサービスでは競争激化が予想される。

重点施策

■ 監視サービスの強化

- ◆ イントラネットの監視や次世代ファイアウォールなどへの対応強化
- ◆ 統合シナジーによる監視サービス販売の強化
- ◆ 既存契約を維持・更新するための付加価値強化

■ 主力サービスの生産性向上と差別化推進

- ◆ 規模の優位性を活かした大規模診断対応や繁忙期の対応強化
- ◆ 韓国、中国の子会社の活用による診断サービスのコスト競争力強化
- ◆ 緊急対応、フォレンジック技術、マルウェア解析など専門分野の更なる差別化推進

セグメント別重点施策

SIS事業

市場環境

企業のIT投資は依然として慎重な姿勢が残り、コスト削減のみならず企業成長と経営効率の両立を追求する方向にある。モバイル、ソーシャル、クラウド、BIといった注目のテクノロジーの活用や、変化する様々な経営環境への迅速な対応を支援するITシステムの需要は高まることが予想される。

重点施策

■ 市場開拓

- ◆ 顧客特化型サービスの展開
- ◆ ソリューション活用の拡充による新規案件開拓
- ◆ セキュリティ対策サービスによる新規案件開拓
- ◆ SEサービス展開による新規顧客開拓

■ 競争力強化

- ◆ ITサービス型商材の整備
- ◆ グローバルコスト競争に勝つためのオフショア、ニアショアの推進
- ◆ ビジネスパートナーの集約によるパートナースキームの強化

セグメント別重点施策

ディーラー事業

市場環境

主要ベンダーの業績も厳しい状況にある中、物販および基盤サービスは昨年並みと考えられる。サービスに関しては、単価の高いベンダーからSierへのシフトがより一層進むと予測される。

重点施策

- 営業、SEの統合によるワンストップ化の推進
- 対ベンダーにおける低単価、柔軟性を武器としたSEビジネスの推進
 - ◆ メガバンクグループにおけるメイン・パートナー化の確立
 - ◆ 種差選択されたアプリケーション・エリアへの取り組み強化
- 営業基盤の再構築
 - ◆ ベンダー／製品別コスト分析に基づくセリング商材の決定
 - ◆ 大手ベンダーとの協業拡大による大型案件への参画
 - ◆ 従来の金融分野に加え、流通、製造、公共分野への市場拡大
 - ◆ S i e r とのレ－ション強化によるサービスエリアの拡大

本資料は、現時点における情報に基づいた将来に関わる予測が含まれております。それらは今後の経済状況や情報サービス業界の動向などにより変動する可能性があります。従って、当社が本資料によって投資等判断の確実性を保証または約束するものではありません。予めご承知おきください。

IRお問い合わせ窓口：管理本部 広報部

Tel: 03-6757-0107

Fax: 03-6757-0101

E-Mail: ir@lac.co.jp